

2018年1月31日

静岡経済研究所 NEWS RELEASE

一般財団法人静岡経済研究所
理事長 一杉逸朗
静岡市葵区追手町 1-13
TEL 054-250-8750
FAX 054-250-8770

静岡県内主要産業の四半期見通し調査 (2018年1～3月期)

輸出型産業を中心に県内景気は順調に回復

世界経済全体の景気拡大を受け、自動車部品や工作機械など輸出型産業を中心に、静岡県内企業の足元の業況は緩やかに回復している。

今後の見通しについては、北米市場の活況などを受け、輸出型産業を中心に県内産業景気は順調に回復していく見通し。大企業による賃上げの動きが中小企業へも浸透していけば、消費マインドの改善も期待される。

なお、業種ごとの1～3月期の業界景気見通しは、主要20業種のうち「家電量販店」、「リース」が『やや上昇』で、残る18業種が『横ばい』。

『好調』が1業種、『順調』が2業種、『普通』が10業種、『低調』が7業種となる見通し。

調査項目 業種	業界景気	
	現況 10～12月	見通し 1～3月
製茶	● → ●	● → ●
食品・飲料	● → ●	● → ●
家庭紙	● → ●	● → ●
産業用紙	● → ●	● → ●
工作機械	⊙ → ⊙	⊙ → ⊙
民生用電器部品	● → ●	● → ●
自動車部品	● → ●	● → ●
二輪車部品	● → ●	● → ●
建設	● → ●	● → ●
住宅	● → ●	● → ●
大型小売店	● → ●	● → ●
食品スーパー	● → ●	● → ●
自動車販売	● → ●	● → ●
家電量販店	● ↗ ●	● ↗ ●
運輸・倉庫	● → ●	● → ●
情報サービス	○ → ○	○ → ○
外食	● → ●	● → ●
観光・レジャー	● → ●	● → ●
リース	● ↗ ●	● ↗ ●
人材派遣	○ → ○	○ → ○

担当：主席研究員 山崎 眞嗣

輸出型産業を中心に県内景気は順調に回復

世界経済全体の景気拡大を受け、製造業を中心に18年3月期決算は最高益を予想する企業が多く、日経平均株価も年初から上昇するなど、国内景気はいざなぎ景気の57カ月を越えて回復を続けている。本県経済も、賃金上昇の遅れや消費者の節約志向の常態化により、大型小売店や食品スーパーなどでは盛り上がり欠けるものの、自動車部品や工作機械など輸出型産業を中心に足元の業況は緩やかに回復してきている。

今後の見通しについては、北朝鮮や中東情勢などの地政学的リスクはあるものの、北米市場の堅調や平昌五輪への北朝鮮参加表明による緊張緩和の動きなどを受け、輸出型産業を中心に県内産業景気は順調に回復していく見通し。また、経団連が示すような大企業による賃上げの動きが中小企業へも浸透していけば、消費マインドの改善も期待される。

(1) 業界景気の現況について

県内産業（主要20業種）の現況（2017年10～12月期）は、『好調』業種が「工作機械」、『順調』が「情報サービス」「人材派遣」の2業種、『普通』が「食品・飲料」「家庭紙」「民生用電器部品」「自動車部品」「建設」「自動車販売」「運輸・倉庫」「外食」の8業種、『低調』が「製茶」「産業用紙」「二輪車部品」「住宅」「大型小売店」「食品スーパー」「家電量販店」「観光・レジャー」「リース」の9業種で、『不調』業種はなかった。前回調査との比較では、『好調』と『低調』が1業種増加、『順調』と『普通』が1業種減少した。『順調』から『好調』に上がったのは内需外需とも好調な「工作機械」、『普通』から『低調』へ下がったのは、10月の台風直撃などで、行楽需要が落ち込んだ「観光・レジャー」。

(2) 業界景気の見通しについて

2018年1～3月期の景気見通しは、2業種が『やや上昇』、18業種が『横ばい』の見通しとなった。『低調』から『普通』へと『やや上昇』が見込まれるのは、平昌五輪開催で4Kテレビの需要が盛り上がる「家電量販店」、企業の設備投資マインドの持ち直しが期待できる「リース」の2業種。

『横ばい』は18業種で、このうち『好調』が続くと見られるのが、外需が引き続き好調な「工作機械」。『順調』が続くと予想されるのが首都圏を中心に多くの案件が見込まれる「情報サービス」、製造業や飲食関連からの人材ニーズが高まる「人材派遣」の2業種。

『普通』のまま『横ばい』と予想されるのは、ツナ缶生産の国内回帰が見込まれる「食品・飲料」、再生トイレ紙が堅調に推移するとみられる「家庭紙」、家庭用エアコンの暖房機能充実により需要が伸長する「民生用電器部品」、軽自動車为好調に推移しそうな「自動車部品」、高規格道路関連工事の契約が見込まれる「建設」、新型車の納車が進む「自動車販売」、輸送用機器が堅調に推移する「運輸・倉庫」、需要が底堅い「外食」の8業種。

一方、『低調』のまま『横ばい』が続くのは、上級茶の引き合いが厳しい「製茶」、コスト上昇分の製品価格への転嫁が難しい「産業用紙」、国内向け原付バイクの減少が止まらない「二輪車部品」、貸家の相続税対策需要の一巡で苦戦が続く「住宅」、百貨店が主力の衣料品を中心に低迷する「大型小売店」、果物類や水産物の品薄が懸念される「食品スーパー」、大河ドラマ効果の反動減が避けられない「観光・レジャー」の7業種。

静岡県内主要産業四半期見通し調査 『現況』と『見通し』推移

年 次		2015年				2016年				2017年			
四 半 期		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV (今回調査)
対象月(○は調査月)		1~③	4~⑥	7~⑨	10~⑫	1~③	4~⑥	7~⑨	10~⑫	1~③	4~⑥	7~⑨	10~⑫
業 界 景 気 の 『 現 況 』	好調 ☀	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	順調 ○	1	2	3	2	2	2	2	2	2	3	3	2
	普通 ◐	4	3	5	7	7	7	7	6	8	8	9	8
	低調 ☁	13	13	11	10	10	10	10	11	9	8	8	9
	不調 ☂	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
	全業種の平均階級値	2.40	2.45	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.45	2.55	2.65	2.75	2.75
好調：5													
順調：4													
普通：3													
低調：2													
不調：1													
業 界 景 気 の 『 見 通 し 』	上 昇 ↗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	やや上昇 ↗	2	2	0	0	1	0	0	2	0	1	0	2
	横 ば い →	18	18	20	20	19	19	20	18	20	19	20	18
	やや下降 ↘	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	下 降 ↘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 「業界景気の現況」および「業界景気の見通し」は、対象企業経営者が業界景気動向をどうみているかを調査したもの。調査は、毎年3、6、9、12月に実施。「業界景気の現況」とは、調査時点(12月調査であれば10~12月期)における業況、「業界景気の見通し」とは、調査時点における翌期(12月調査であれば1~3月期)の見通しを示す。

注2) 調査方法は、アンケート調査とヒアリング調査による。アンケート調査の概要は、以下の通り。
調査時点…2017年12月上旬
回答企業…県内主要20業種(20社)

注3) 平均階級値は、好調：5、順調：4、普通：3、低調：2、不調：1とする、20業種の平均値。

2018年1～3月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査一覧表

調査項目 業種	業界景気		静岡県内主要産業の見通し									
	現況 (10～12月)	見通し (1～3月)	生産量 (前対比伸び率)	売上高 (前対比伸び率)	生産量 (前年同月比)	売上高 (前年同月比)	操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格の動向 (前10～12月期対比)	製品価格の動向 (前10～12月期対比)	受注残 (ヵ月)
製茶	☁ → ☁	☁	—	—	—	→	○	均 衡	適 正	→	→	—
食品・飲料	○ → ○	○	↘	↘	↗	→	○	均 衡	適 正	↗	↗	0.5～1.0
家庭紙	○ → ○	○	→	→	→	→	○	均 衡	適 正	↗	→	0.1～1.0
産業用紙	☁ → ☁	☁	→	→	→	→	○	均 衡	適 正	↗	→	0.1～1.0
工作機械	☼ → ☼	☼	→	→	→	↗	◎	均 衡	適 正	→	→	1.0～8.5
民生用電器部品	○ → ○	○	→	→	→	→	○	均 衡	適 正	→	→	1.0～3.0
自動車部品	○ → ○	○	↗	↗	→	→	○	均 衡	適 正	→	→	0.1～3.0
二輪車部品	☁ → ☁	☁	↗	↗	↘	↘	◇	均 衡	適 正	→	→	0.5～3.0
建設	○ → ○	○	—	↗	—	→	○	需要超過	適 正	↗	→	3.0～11.0
住宅	☁ → ☁	☁	—	→	—	→	○	均 衡	適 正	→	→	3.0～6.0
大型小売店	☁ → ☁	☁	—	→	—	↘	—	供給超過	適 正	→	→	—
食品スーパー	☁ → ☁	☁	—	→	—	↘	—	供給超過	適 正	→	→	—
自動車販売	○ → ○	○	—	↗	—	→	—	均 衡	適 正	→	→	—
家電量販店	☁ ↗ ○	○	—	→	—	↗	—	供給超過	適 正	→	→	—
運輸・倉庫	○ → ○	○	—	↗	—	↗	○	均 衡	—	→	→	—
情報サービス	○ → ○	○	—	↗	—	↗	○	需要超過	—	→	→	—
外食	○ → ○	○	—	→	—	→	—	均 衡	—	↗	→	—
観光・レジャー	☁ → ☁	☁	—	↘	—	↘	—	供給超過	—	→	→	—
リース	☁ ↗ ○	○	—	↗	—	↗	—	—	—	—	—	—
人材派遣	○ → ○	○	—	↗	—	↗	○	需要超過	—	↗	→	—
〈特別調査 2018年1～6月期 半期見通し〉												
家具	☁ → ☁	☁	→	→	↘	↘	◇	供給超過	過 多	↗	→	0.5～1.0
楽器	☁ → ☁	☁	→	→	→	→	○	均 衡	適 正	→	→	—

表の見方と注意

業界景気 現況 見通し	業界景気 見通し	生産量・売上高の伸び率 原材料・製品価格の動向	操業度	需給バランス	製品在庫水準
好調 ☼	上昇 ↗	非常に増加・上昇 (+10%以上) ☼	100～90% ◎	非常に需要超過	非常に過少
順調 ○	やや上昇 ↗	増加・上昇 (+3～+9%) ↗	89～80% ○	需要超過	過少
普通 ○	横ばい →	横ばい (+2～△2%) →	79～70% ◇	均 衡	適 正
低調 ☁	やや下降 ↘	減少・下降 (△3～△9%) ↘	69～60% ⊙	供給超過	過多
不調 ☂	下降 ↘	非常に減少・下降 (△10%以下) ☂	59%以下 ●	非常に供給超過	非常に過多

(注) 特別調査(家具、楽器)は半期ベース(7～12月期の現状と1～6月期の見通し、前期比・前年比もすべて半期ベース)。半期調査対象企業…2業種の企業15社。

主要業種の現況と1～3月期の景況見通し




業種	業界天気	「ふじのくに茶の都ミュージアム」から茶の魅力発信を
製茶	☁ →	(現況)・製茶問屋の売上高は、前年並みとなった模様。年末の贈答需要は低迷が続いた。家庭需要は底堅いものの、値ごろ感のある商品が中心で、高価格帯は供給が過剰気味。ドリンク用は高値圏での推移が続いた。
		(見通し)・製茶問屋の売上は前年並みの見通し。新茶期を控え在庫調整を図る時期となるが、需要が低迷する上級茶の引き合いは厳しいとみられる。こうした中、3月24日には「ふじのくに茶の都ミュージアム」がオープン予定。お茶の魅力を国内外へ発信し、消費が拡大することを期待したい。




業種	業界天気	資材価格など製造コストの上昇に伴い、製品価格の改定続く
食品・飲料	☉ → ☉	(現況)・県内の食料缶メーカーの売上高は、前年並みで推移した模様。このうち、県内のツナ缶生産量は、海外工場での増産を受け、前年を▲5%程度下回ったとみられる。飲料缶類の生産量は、天候不順により前年を▲5%程度下回った模様。
		(見通し)・県内の食料缶メーカーの売上高は、前年並みで推移する見通し。資材価格や運賃など製造コストの上昇により収益は悪化する可能性が高く、製品価格を改定する動きが続くとみられる。県内のツナ缶生産量は、国内工場への生産回帰などにより前年を+5%程度上回る見通し。




業種	業界天気	トイレ紙は原燃料などコスト上昇に苦慮
家庭紙	☉ → ☉	(現況)・家庭紙の生産量は、前年並みとなった模様。再生トイレ紙の生産量は前年並み。原料古紙や燃料、薬品、輸送などコストが上昇しているが、価格は横ばい程度の推移にとどまった。ティッシュの生産量も、ほぼ前年並みで推移した。
		(見通し)・家庭紙の生産量は前年並みとなる見通し。再生トイレ紙は前年並み。価格はこのところ堅調に推移していたが、パルプ物の値上げの遅れが上値を抑えそうだ。ティッシュも前年並みとみられる。輸入品との競合などから、価格面では現状維持が続く可能性が高い。




業種	業界天気	段ボール原紙は値上げも、白板紙はコストの転嫁に遅れ
産業用紙	☁ → ☁	(現況)・産業用紙の生産量は、前年をやや上回った模様。段ボール原紙は、主力の加工食品向けなどが堅調で、前年比微増。価格改定が定着し、コスト上昇分がようやくカバーされた。白板紙は前年並みを見込む。
		(見通し)・産業用紙の生産量は、前年並みとなる見通し。段ボール原紙は、前年をやや上回る模様。冷凍食品向けや通販向けなどは引き続き伸長が期待でき、成長を牽引しそう。白板紙は、前年並みとみられる。コスト上昇分の製品価格への転嫁は難しく、価格は横ばいにとどまりそうだ。

☉好調 ○順調 ●普通 ☁低調 ☂不調 業界天気は上段が10～12月期、下段が1～3月期

業種	業界天気	引き続き好調を維持、前年実績を上回る見通し
工作機械	  	<p>(現況)・全国および県内の工作機械受注額は好調を維持し、前年を+30%程度上回って推移した模様。外需は、アジア・欧州・北米とも好調で、前年を+40%程度上回ったとみられる。また、内需も自動車関連が好調で、前年を+15%程度上回った。</p> <p>(見通し)・全国および県内の工作機械受注額は、ともに前年実績を+10%程度上回って推移する見通し。外需では東南アジア向けに勢いが無いものの、全体では自動化や省力化投資が必要を下支えするとみられる。好調な受注が続くことで生産が追いつかず、納期遅れなどの懸念が出始めている。</p>

業種	業界天気	北日本での需要拡大で、エアコンは前年実績を若干上回る見込み
民生用電器部品	  	<p>(現況)・県内の家庭用エアコンの出荷台数は前年実績を確保し、在庫も多少過剰だった水準から適正レベルとなった模様。業務用は引き続き堅調に推移。一方、冷蔵庫はこれまで人気であった大型タイプが伸び悩み、前年実績を若干下回った。</p> <p>(見通し)・県内の家庭用エアコンの出荷台数は、暖房機能の充実により北日本での需要が伸長していることから、前年実績を若干上回る見通し。業務用は首都圏等のビル建設需要が追い風となり、引き続き前年並みを維持しそう。冷蔵庫と洗濯機は買替え需要もあり、横ばいが続くと思われる。</p>

業種	業界天気	国内販売は新型車が好調、県内生産量は前年実績を確保
自動車部品	  	<p>(現況)・全国の自動車生産台数は、前年並みで推移した模様。無資格検査問題の影響で、一部完成車メーカーでは生産が減少したものの、軽自動車および輸出向けは堅調だった。県内部品メーカーの生産量は、取引系列により明暗が分かれた。</p> <p>(見通し)・全国の自動車生産台数は、前年並みで推移する見通し。国内販売は、無資格検査問題の影響が懸念されるが、軽市場などで新型車が好調に推移する見込み。輸出も、欧米向けを中心に堅調な動きが見込まれる。県内部品メーカーの生産量は、前年実績を確保する見通し。</p>

業種	業界天気	中・大型車は堅調、県内生産量は前年比微減の見込み
二輪車部品	  	<p>(現況)・全国の完成車生産台数は、前年をやや下回って推移した模様。前年の熊本地震による減産の反動が収束した上、一部モデルが排ガス規制により生産終了したため。県内部品メーカーの生産量は、前年比微減で推移したとみられる。</p> <p>(見通し)・全国の完成車生産台数は、前年を下回って推移する見通し。欧州向けなど中・大型車は堅調だが、台数ベースで多くを占める国内向け原付バイクは減少する見込み。県内部品メーカーの生産量は、排ガス規制により生産終了したモデルの影響で、おおむね前年比微減で推移するとみられる。</p>

○ 好調 ○ 順調 ● 普通 ● 低調 ☂ 不調 業界天気は上段が10~12月期、下段が1~3月期




業種	業界天気	公共、民間ともに前年並み、浜松市の再開発事業が前進
建設	○ → ●	(現況)・県内の公共工事契約額は、前年並みとなった模様。中・東部地区で治水工事などの契約が進んだ。民間の工事費予定額は、前年をやや下回った模様。前年は西部地区でメーカーの研究施設など大型案件が着工しており、反動減となった。 (見通し)・県内の公共工事契約額は、前年並みで推移する見通し。東部地区を中心に高規格道路関連工事の契約が増加するとみられる。民間の工事費予定額も、前年並みとなる見通し。浜松市では長期間動きの無かった駅前再開発事業が前進する予定で、複合ビルなどの着工が見込まれる。




業種	業界天気	持家は前年比微増、貸家は需要に一服感あり苦戦が続く
住宅	● → ●	(現況)・県内の持家新設着工戸数は、前年を下回った模様。住宅ローン金利は引き続き低水準で推移するも、消費者の購買意欲を後押しする材料に欠けた。貸家も前年割れ、マンションの着工が少なかった分譲は前年をやや下回った模様。 (見通し)・県内の持家新設着工戸数は、前年をやや上回る見通し。中部地区に住宅展示場が新規オープン予定であり、消費者の動向に注目が集まる。貸家は、直近20年間で最低水準となった前年の着工戸数は上回るものの、相続対策需要の一服感は否めず苦戦が続く見通し。




業種	業界天気	百貨店は主力の衣料品を中心に伸び悩みが続く見通し
大型小売店	● → ●	(現況)・県内大型小売店の既存店売上高は、前年をやや下回った模様。百貨店は、化粧品が底堅く推移したものの衣料品が振るわず、前年を下回った。GMSは専門店との競合激化で衣料品や住関連品の売れ行きが伸び悩み、前年を下回った。 (見通し)・県内大型小売店の既存店売上高は、前年をやや割り込んで推移する見通し。百貨店は、株高による資産効果の影響は限定的とみられ、主力の衣料品を中心に低迷が続くそう。GMSは、消費者の節約志向の強まりを背景に、店舗間競争の激化が見込まれ、前年を割り込んで推移する見込み。




業種	業界天気	果物や水産品の販売低迷で、売上は前年をやや下回る見通し
食品スーパー	● → ●	(現況)・県内主要食品スーパーの既存店売上高は、前年をやや下回った模様。農産物は、天候不順の影響でレタスやホウレン草の価格が高騰し、買い控えがみられた。水産物は、サケやサンマなどの入荷が少ない状況が続く、前年を下回った。 (見通し)・県内主要食品スーパーの既存店売上高は、前年をやや割り込んで推移する見通し。農産物は、厳冬で鍋物野菜の販売増加が見込まれるものの、ミカンなど果物類の品薄が懸念される。水産物も、カニなどの不漁で前年を下回る見込み。肉類も相場高が続く牛肉が伸び悩むとみられる。

○好調 ○順調 ●普通 ●低調 ☂不調 業界天気は上段が10~12月期、下段が1~3月期

業種	業界天気	新型車効果もあり登録車は前年並み、軽自動車は堅調
自動車販売	  	<p>(現況)・県内の登録車販売台数は、前年を▲6.4%下回った。無資格検査問題に伴う納期遅延などの影響を受け、四半期ベースでは2015年夏以来9期ぶりに前年を割り込んだ。軽自動車は、昨夏改良のモデルが好調で、前年を+3.1%上回った。</p> <p>(見通し)・県内の登録車販売台数は、前年並みで推移する見通し。一部の販売店は無資格検査問題の影響を受けるも、昨秋から年末にかけて発売された新型車の納車が進み、市場全体では横ばいで推移するとみられる。軽自動車は、モデルチェンジ効果で堅調な動きが見込まれ、前年を上回る見通し。</p>

業種	業界天気	4Kテレビや白物家電の需要拡大で前年をやや上回る見通し
家電量販店	  	<p>(現況)・県内の家電販売額全体は前年実績をやや上回った模様。パソコンは市場低迷に歯止めがかからず振るわなかったが、4Kテレビをはじめ、洗濯機や冷蔵庫、調理家電など主要製品の買替え需要が拡大し、総じて好調に推移した。</p> <p>(見通し)・県内の家電販売額全体は、前年をやや上回る見通し。テレビは、平昌五輪の開催により買替え需要が拡大し、前年を10%前後上回る見込み。洗濯機や冷蔵庫といった白物家電製品も、高機能製品への買替え需要が下支えし、前年実績を確保するとみられる。</p>

業種	業界天気	トラック輸送量は、前年実績をやや上回る見通し
運輸・倉庫	  	<p>(現況)・県内のトラック輸送量は、輸送用機器や食料品が底堅く推移したとみられ、前年水準をやや上回った模様。普通倉庫の入出庫高は、紙・パルプや食料品などの荷動きが良かったことから、前年比+10%増加した。</p> <p>(見通し)・県内のトラック輸送量は、引き続き輸送用機器などが堅調に推移し、前年実績をやや上回る見通し。ただし、燃料価格の上昇やドライバー不足など、業界を取り巻く環境は厳しい状況が続く。倉庫の入出庫高は、電気機械や食品関連で安定した荷動きが見込まれ、前年を+5%程度上回る見通し。</p>

業種	業界天気	ソフト開発が堅調に推移し、首都圏からの案件も見込む
情報サービス	  	<p>(現況)・全国の売上高は、ソフト開発案件が順調だったほかシステム等管理運営受託も堅調に推移し、前年を+3%程度上回った模様。県内では、製造業や流通業における生産管理システムや基幹システムのほか、官公庁からの案件も増加した。</p> <p>(見通し)・全国の売上高は、ソフト開発が堅調に推移し、前年をやや上回る見通し。県内も、首都圏を中心に多くの案件を見込んでおり、前年水準を上回るとみられる。ただし、IT技術者など人材不足がネックとなり、案件に対応できないケースが発生することも懸念される。</p>

○好調 ○順調 ●普通 ●低調 ☁不調 業界天気は上段が10~12月期、下段が1~3月期


業種	業界天気	厳冬と平昌五輪の影響で外食機会がやや減りそう
外食	●	(現況)・県内主要外食店の売上高は、前年をやや下回った模様。外食需要は安定しているものの、10月の台風直撃の影響を受けた外食機会の減少が響いた。また、大河ドラマ放映に伴う県西部のランチ特需は、春先のような勢いが弱まった。
	→ ●	(見通し)・県内主要外食店の売上高は、前年をやや下回る見通し。外食需要は底堅いが、ラニーニャ現象の影響で寒さから外出意欲が削がれ、外食にもマイナス影響が広がる模様。平昌五輪の期間は、自宅でのテレビ観戦が増える可能性が高く、昼夜を問わず外食機会が減少するとみられる。


業種	業界天気	伊豆人気は根強いが、県西部は大河ドラマの反動減
観光・レジャー	☁	(現況)・県内主要旅館の総売上高は、前年をやや下回った模様。行楽シーズンである10月に台風襲来や総選挙があり、直前予約型の観光需要が消失した。インバウンドは韓国からの訪日が増え、微増傾向が続いた。
	→ ☁	(見通し)・県内主要旅館の売上高は、前年をやや下回る見通し。国内需要は、“伊豆人気”が安定しているものの、県西部は大河ドラマの反動減が避けられない。ただし、長期予報によると全国的に気温が下がるとみられており、相対的に温暖な静岡県内は早春の花需要で上積みが見込めそう。

業種	業界天気	大・中堅企業の投資意欲は高く、前年をやや上回る見通し
リース	☁	(現況)・県内のリース件数・契約高は、前年並みで推移した模様。中小企業は、製造業で更新需要が底堅く、補助金を活用した設備投資も散見された。機種別では、工作機械や理化学機械が堅調に推移した。
	→ ●	(見通し)・県内のリース件数・契約高は、前年をやや上回る見通し。県内景気は緩やかに改善しており、慎重さが目立った企業の投資マインドも、大・中堅の製造業を中心に持ち直しが期待される。ただし、中小企業では新規の設備投資に消極的な面もみられ、更新投資が中心となる模様。

業種	業界天気	派遣スタッフの人材確保に苦戦し、伸びは限定的
人材派遣	○	(現況)・県内の実働派遣労働者数は、前年を+3%程度上回った模様。製造業のほか年末にかけてコールセンターや物流関連事務などで旺盛な需要が続いた。しかし、供給サイドでは、思うように人材を確保することができず厳しい状況が続いた。
	→ ○	(見通し)・県内の実働派遣労働者数は、前年をやや上回る見通し。製造業や飲食関連で人手不足感が高まっており、引き続き高い需要が見込まれる。一方、供給サイドでは、派遣スタッフの人材確保がさらに困難になることも予想され、伸びは限定的となる見通し。

○好調 ○順調 ●普通 ☁低調 ☂不調 業界天気は上段が10~12月期、下段が1~3月期

業種	業界天気	低価格帯家具に需要が移り、出荷額は前年を下回る見通し
家具(半期ベース)		<p>(現況)・県内の木製家具出荷額は、前年実績を下回った模様。住宅メーカーなどのOEMは堅調だったが、主力の中・高価格帯家具の売上は低調だった。また、輸入家具との競争激化による売上減少に伴い、組立家具大手メーカーの倒産が発生した。</p> <p>(見通し)・県内の木製家具出荷額は、前年水準を下回る見通し。若年層を中心に実用性の高い低価格帯家具に需要が移り、主力の中・高価格帯家具の売上は前年を下回る模様。原料の外材価格は、中国など海外需要の影響に伴い高値で推移するとみられ、収益は悪化する見通し。</p>

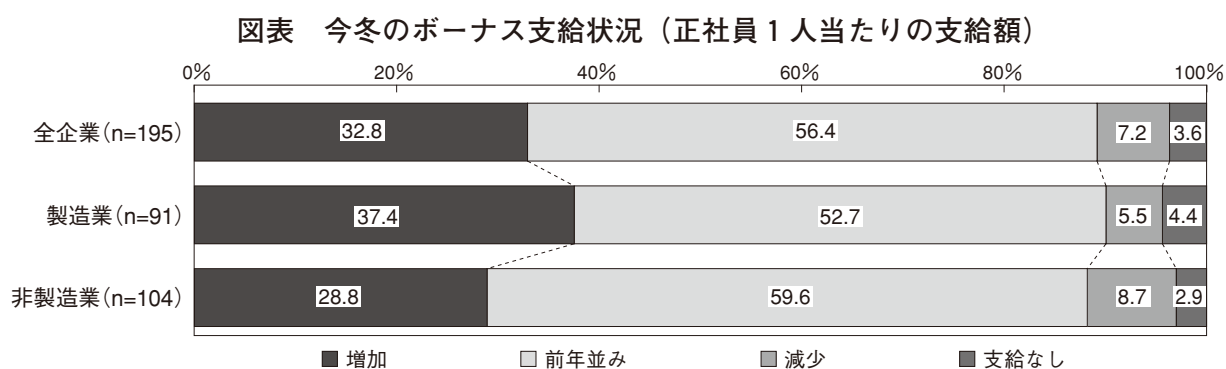
業種	業界天気	北米は景気回復でピアノなどの販売増を期待
楽器(半期ベース)		<p>(現況)・楽器販売額は、前年をやや下回った模様。国内は前年割れで推移。管楽器などは堅調に推移したものの、主力のピアノは平型が不振で前年実績に届かず。海外は、電子ピアノなどは伸びを欠いたが、管楽器が好調で前年水準を確保した。</p> <p>(見通し)・楽器販売額は、前年並みとなる見通し。国内は、少子化などで市場の縮小が続くとみられ、大人向けなどの需要開拓に注力する模様。海外はやや増加の見通し。北米では、景気回復に伴いピアノや電子楽器などの販売増が見込まれ、中国向けもピアノやギターの伸びが確保できそう。</p>

○好調 ○順調 ●普通 ●低調 ☂不調 業界天気は上段が7～12月期、下段が1～6月期

今冬のボーナス支給額「増加」企業は、3割を超える

県内企業に、今冬のボーナス支給状況について聞いたところ、前年より「増加」と回答した企業は32.8%と、前年調査（26.9%）を5.9ポイント上回り、3割を超えた。「減少」も7.2%と前年（7.3%）とほぼ変わらない水準だが、「前年並み」は56.4%と前年調査（61.6%）を5.2ポイント下回った。

業種別にみると、輸送用機器（60.9%）、運輸・通信業（50.0%）、電気機器（41.7%）で「増加」と回答した企業が4割を超えた。一方、サービス業（10.5%）、ホテル・旅館（11.1%）では2割を下回るなど、業種間で格差がみられた。



調査要領：調査時点2017年12月、調査対象企業数604社、回答社数195社、有効回答率32.3%